



青木美貴子 議員

第二次行政経営改革プランについて伺う

行政と町民との協働の町づくりを推進します

行政経営改革プランの中で謳っている「減量型行政から一歩踏み込んだ持続可能な町づくり」とは、どう町民に理解され、推進されていくのか。

【問】行政経営改革プランの中で謳っている「減量型行政から一歩踏み込んだ持続可能な町づくり」とは、どう町民に理解され、推進されていくのか。

【答】青井市長

行政サービスの質を維持しながら更に効率的な行政運営において職入に見合った歳出構造の構築や事務事業の見直しを行い、そこで捻出された財源を重点的に取り組むべき事業へ効果的に振り分け、住民福祉の向上につなげることを基本とした「持続可能な町づくり」

また、町の施策や現状について積極的に情報発信し、行政と町民が手を取り合った協働の町づくりを推進します。

【問】青井市長

行政サービスの到達点及びその時期は、また町民の理解を得る具体的な取り組みは、

【答】青井市長

財政の健全化に当たっては、地方債残高を減少させ財政調整基金の増額を図ることが有効であります。

【問】青井市長

しかしながら、地方債を活用できる事業は、主にインフラ整備

等の将来へ向けた事業であり、その財源について地方債を利用しない整備は、現世代のみへ負担を多く強いものととなりますので、真に必要な事業については地方債等による財政措置をしながら将来の世代も平等に負担すべきものであると考えます。重点的に取り組むべき事業へ効果的に振り分けることが持続可能な町づくりへとつながります。将来的目標として10年程度の期間で、財政健全化の指標を県及び類似団体の平均値とすることを目標

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】行政経営改革プランの中で謳っている「減量型行政から一歩踏み込んだ持続可能な町づくり」とは、どう町民に理解され、推進されていくのか。

【答】青井市長

また、町の施策や現状について積極的に情報発信し、行政と町民が手を取り合った協働の町づくりを推進します。

【問】青井市長

行政サービスの到達点及びその時期は、また町民の理解を得る具体的な取り組みは、

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長



行政区に設置されているゴミ集積所

家庭系ゴミの搬出について伺う

【問】行政経営改革プランの中で謳っている「減量型行政から一歩踏み込んだ持続可能な町づくり」とは、どう町民に理解され、推進されていくのか。

【答】青井市長

また、町の施策や現状について積極的に情報発信し、行政と町民が手を取り合った協働の町づくりを推進します。

【問】青井市長

行政サービスの到達点及びその時期は、また町民の理解を得る具体的な取り組みは、

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

【問】青井市長

【答】青井市長

上水道の未整備地域への対応は

安心・安全な飲料水は行政の責務

現行補助政度の充実と継続を図ります



小畑 博司 議員

〔問〕上水道の整備・拡充は事業開始から数十年が経過しているが、未だ未整備地区が存在する。井戸を掘り直しても飲料水が確保できないこれらの地区をどう考えているのか。

〔答〕建設課長
未整備地域は綾原区・赤城新田区・杉山区の一部であり昭和56年の整備計画策定時において計画区域外としました。これまでも飲料水確保のために支援策を拡大するなど対応して参りましたが、それでも飲料水の確保が困難な状況は把握しております。安心・安全な飲料水の提供は行政に与えられた責務であるため、様々な事例を

参考にしながら現行補助制度の充実・継続を図って参ります。

日本型総合農協の存続を

将来にわたって重要な組織であると考えます

〔問〕規制改革推進会議は、金融・購買事業の分割など、農協経営の根幹にかかわる「改革」を提言している。日本型総合農協の解体を想定させるような状況だが、持続可能なまちづくりを進める我が町にとっても重大な問題ではないか。

〔答〕農協町長

時代の潮流に対応した組織の改革は常に求められなければならない。安定的な農業者所得確保のためにも重要な改革提言であると考えます。

しかしながら、長きにわたり、農業の中心役割を果たしてきた全農及び農業者組合は、町そして農業者にとって現在においても、また将来にわたっても重要な組織であります。国における農協改革の動向を注視しつつ、農業者の持続的な所得安定に向け、今まで同様、連携を図って参ります。



上空から見た会津坂下町



齋藤 善平 議員

町財政の見通しは

非常に厳しい状況にあります

【問】福島県市町村財政課による財政シミュレーションの結果、平成29年度以降赤字の見込みとあります。基金残高は、全国市町村で下から5番目となり、特に、平成31年度以降は極めて厳しい財政状況になるとの指摘があります。

【答】これからの財政見通しを、どのように考えているか。

【答】寛井政調財務課長 現在当町の状況は、基金残高が非常に少額

であり、特に財政調整基金は28年度当初で7400万円程度であります。今後は、人口減による歳入減少の中、新庁舎建設、維持修理費の増加、高齢化の進行による医療費などの扶助費の増加等により、財政運営上の見通しは非常に厳しい状況にあります。

【問】財政健全はいま、何をしなくてはならないと考えているか。

【答】寛井政調財務課長 大きく2点必要であります。まず、財政調整基金の積立額の確保です。緊急的な支出が必要になった時、目的である財政調整と言う機能が働かず、健全な財政運営ができない状況であります。

2点目は、地方債に頼らず歳入規模に見合った事業の実施であります。

これからの会津坂下町をどのようにするのか
これまでの取り組みを継続・発展させます

【問】トップマネジメントには、事業の目的を考えるという役割があります。またトップマネジメントの役割は多

元的であります。目的は、町民の暮らしと財産を守り、この町を豊かにし、福祉の充実を

図ることと考えます。そこで2期目として、これからの会津坂下町をどのようにしていくのか。

【答】寛井町長 会津坂下町の過去から未来への継承、町民とともにつくる郷土の創造、生まれてよかった、住んでよかったと誇れる町への進化を往にします。雇用の場の確保、安心して子育てができる環境整備や移住・定住施策の推進等

に取り組んでいきます。

【問】その達成の爲にどんな事業に力を入れていくのか。

【答】寛井町長 住民満足度を高める施策は、一つ目「子育て」、二つ目に「老後までの安心」、三つ目に「町民ニーズ」、四つ目に「自然環境・生活空間」、五つ目に「働く者の喜び」の満足度を高めることに力を注いでいきます。



平成28年11月に策定された
第2次行政経営改革プラン

